

第9号

商工女性 あまた

発行所

秋田県商工会議所
女性会連合会

TEL : 018-866-6677

編集発行人

西村悠子

ごあいさつ



秋田県商工会議所女性会連合会

会長 西村悠子

寒さの中にも春の気配が感じられる今日この頃ですが、会員の皆様には御健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。なかなか景気の回復を感じられないこの一年でした。その間に政権交代と時代の流れは大きく変わり、戸惑うことばかりでしたが、今年度も会員相互の親睦や融和を図り、経営講習会で経営知識と教養を深め、商工業に携わる女性としての資質向上を目指してまいりました。また、女性起業家大賞では二名の方を表彰することができました。お二人とも時代にマッチした起業を立ち上げられました事はこれから大いに期待され、さらなるご活躍をお祈りいたします。

昨年は種苗交換会が秋田市で行われ、単会の皆様にもご協力いただき、秋田市内の中心街区の賑わい創出に貢献することができました。これも会員の皆さんの絶大なるご協力の賜と感謝申し上げます。

まだまだ厳しい経済状態ではございますが、このような環境変化に対応するためにも資質向上を図り、「女性の元気を！パワーを！」をキャッチフレーズに、女性ならではの感性を活かした事業の取り組みに力を注ぎ、「行動する女性会」として笑顔と元気で、地域に貢献していきたいと思っておりますので、皆様のより一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念しまして、あいさついたします。

新 会 員 募 集 中

当女性会では、新会員を随時募集しております。

女性ならではの研修会や事業に参加し、新たなネットワークを広げてみませんか？

目 的

管内の商工業に従事する女性か、知識と教養を高め感性を磨き、地域商工業の振興発展と社会福祉に寄与する。

加入資格

県内各地域商工会議所の会員であり、商工業に関与する女性。

まずは、ご一報ください…。

お問合せは、所属商工会議所の女性会事務局へお願いします。



秋田県商工会議所女性会連合会

秋田商工会議所女性会	〒010-0923	秋田市旭北錦町 1-47	TEL018-866-6677
能代商工会議所女性会	〒016-0831	能代市元町 11-7	TEL0185-52-6341
大館商工会議所女性会	〒017-0044	大館市御成町 2-8-14	TEL0186-43-3111
横手商工会議所女性会	〒013-0021	横手市大町 7-18	TEL0182-32-1170
湯沢商工会議所女性会	〒012-0824	湯沢市佐竹町 4-2	TEL0183-73-6111
大曲商工会議所女性会	〒014-0027	大仙市大曲通町 8-50	TEL0187-62-1262

平成21年度『秋田県女性起業家大賞』受賞者



秋田県商工会議所女性会連合会 会長賞

納棺ふじ 代表

藤 木 志穂子 様(湯沢)

遺体処置(遺体衛生保全、死化粧)



日本でまだ普及していない遺体処置の仕事「エンパーミング」という新しい事業に取り組む。死化粧を施すことによって故人の安らかな顔をいつまでも思いうかべることができ、遺族が死と向き合う精神的な苦痛を軽減できる。遺体を衛生的に保全することによって腐敗の進行を止め感染症などから遺族や葬儀関係者を守り、安心して遺体に接することを目的にしている。



特 別 賞

ホワイトラビット 代表

木 村 紹 子 様(秋田)

古着の回収・査定・分類・リメイク・オークション出品にて展開、縫い子・お針子のネットワーク構築などの業務をインターネットを介して行う



「少子化現象の拡大による良質の古着が増加」、「子供服古着のリサイクル評価が低い」、「女性は自分だけしか手に入らない物に必ず興味を示す」、「子供に着せた服は着れなくなっても愛着を持っている」、「縫子・針子と言われる技術が散在して内職者というマイナーなイメージの中でその技術を眠らせている」以上のことに着目し子供服のリサイクル処分のプロとして画期的で独創的な古着の有効活用法を生み出し新事業として展開している。

女性起業家大賞表彰式 ならびに新年祝賀会

～1月27日:ホテルメトロポリタン秋田～

県内6女性会会員および来賓等55名の参加により、今年度は2名の起業家大賞受賞者が表彰されました。受賞者は今までにない新しい事業を展開しており、これからも女性パワーで頑張ってほしいと思いました。その後、工藤雄一氏によるミニコンサート「思い出のラジオ歌謡」が行われ、懐かしい曲に酔いしれました。新年祝賀会は、フラメンコやラジオ歌謡の合唱などがあり、楽しいひとときを過ごすことができました。



▲表彰式記念写真



▲受賞者あいさつ



▲ミニコンサート・新年祝賀会

秋田県商工会議所女性会連合会定時総会

西村会長からのご挨拶のあと、「平成20年度事業報告ならびに収支決算・監査報告」、「平成21年度の事業計画ならびに収支予算」、「役員改選」について議事が行われ無事承認されました。その後、経営講演会を行い終了後、講師の片岡五郎様もご一緒に、県内女性会の皆さんで懇親を深めました。

～6月8日:秋田キャッスルホテル～



▲定時総会



▲懇親会

秋田だより

経営講演会

6月8日：秋田キャッスルホテル

「勝利の成功経営者6つの法則 ～新時代の女性経営者のあり方～」

講師：経営診断士 片岡五郎 氏

トップリーダーになるために必要な考え方や振舞い方を楽しいお話を交えながら説明していただきました。部下を引きつける印象ということで、好感を持てる立ち方や声の出し方、いい笑顔の作り方などを教えていただきました。



▲講演中の片岡先生 俳優でもあるので声に迫力がありました



職場体験実習

夏休み期間：7月24日～8月24日

秋休み期間：10月10日～10月13日

児童養護施設「感恩講」の院生を対象に行っている職場体験も今年で6年目になりました。院生19名が、受入企業12ヶ所(山二、ロックンボウル、食器のさかいだ、仕出しの三太、すくすく保育園、ペペロンチーノ、ラ・グロッタ、割烹かめ清、ダスキン土崎支店、県庁食堂、シャトー、東横イン秋田駅東口)に分かれて体験実習をしました。

各事業所から、楽しく働くことや仕事の厳しさのアドバイスがあったり、院生からは、将来の希望や夢についての話があり、ほのぼのした時間を過ごしました。同じ院生が続けてきてくれた事業所も多くなりました。(成田 多恵子)



▲「山二」にて



▲「食器のさかいだ」にて



▲「すくすく保育園」にて

ハロウィーンパレード 2009 へ参加

10月24日：まちなの駅、アゴラ広場、仲小路商店街等

恒例の仲小路ハロウィーンパレードに参加、受付係、お化粧係、お菓子配布係をしました。受付で「秋田商工会議所女性会 & 可愛い模様」を染めた菓子入用布バックを配布、菓子配布所では女性会の看板を出してアピールしました。お子ちゃま達の扮装がとても可愛く楽しかったですよ～ (坂本 温子)



▲お隣の岩田写真様と記念撮影



▲仮装した子供たちにお菓子配布 皆さん楽しそうです



企業視察研修会

11月26日：秋田魁新報社印刷センター
秋田酒類製造㈱ 高清水

毎日私達に情報を提供してくれる新聞の印刷センターと、秋田が誇る銘酒高清水の工場を見学。人影疎らな印刷所では、巨大な精密機械が送られてくる記事を瞬時に印刷し配送することに驚き、酒造会社では芳醇漂う中で酒の歴史と製法を学びました。



▲印刷センターにて



▲秋田酒類製造㈱にて

秋田を元気づけてと願いながら、エールを送ってきました。(竹谷 和子)

東北六県商工会議所女性会連合会会員大会奥州大会

7月9日：プラザイン水沢・奥州市文化会館Zホール

奥州市会場到着後、岩手県女性会200名の歓迎ムードにパワーを感じ、各女性会紹介など、会の始めに活動指針唱和、女性会の歌など会社組織同様気持ちの統一性をもたせるスタートでありました。

アルビニスト野口健氏の講演では、「富士山から日本を変える」をテーマに、登山家野口健氏として日本一の富士山がゴミの山であることを各国の登山家に指摘を受け、10年前より活動続け、今では不法投棄されているものを掘り出すところまでできているなど感銘を受ける内容でありました。日本人の恵まれすぎてきた心のゴミを感じました。東北六県参加人数は550名。長年に渡り各地で女性の力を集結し町おこしに励んで根づいてこられた先輩方の活力を受け取って参りました。今後、秋田の元氣も数多くの女性会のみなさまの参加でアピールできれば幸いです。(柴田 玲子)



▲東北六県女性連会長を囲んで記念撮影

全国商工会議所女性会連合会長野大会

9月4日：エムウェーブ

初めての全国大会は驚きの連続でした。大きな会場、スムーズな会の進行、3200名の熱気あふれる女性会会員の皆様、会場いっぱいに並べられた椅子席での懇親会等々…。翌日の雄大な北アルプス連峰と黒部ダム見学とともに素敵な思い出になりました。(温井 節子)



▲エムウェーブはとても広かったです



参加の記念に▲



▲観光地にて

農林商工連携フェアジョヤサ '09

10月30日～11月5日：旧婦人会館跡

中心街の賑わいの核として日赤・婦人会館跡地を主会場に開催され、秋田県産品交換会協賛等もあわせ、秋田市の農林・商工業が集結し、活気あふれる出店販売を展開した。

当女性会は、漬物や麹、パウンドケーキなど日替わりで販売を行い、日頃培ったコミュニケーション能力の高さに、脱帽。寒い中での販売でしたが、熱気あふれる女性会でした。(境田 幸子)



▲出店者とボランティアの皆様 寒い中お疲れ様でした



▲能代女性会からも参加いただきました

【編集後記】

雪の少ない冬、暖冬と喜んでおりましたが、立春も過ぎたものの、未だ厳しい寒さの毎日です。広報部会では、「第9号」会報の作成について協議、過ぎし日の行事の写真を見たらスムーズに進行致しました。次いで皆さんと心新たに情報交換、元氣の出る秋田を目指して、とても有意義なひと時を語り合いました。原稿をお願い致しました皆様に感謝申し上げます。内容が豊富で魅力的な会報にしたいと思っております。(菅原 朋子)



▲広報部会員の皆さん

大館だより

会長あいさつ

大館商工会議所女性会 会長 小池 和子

女性会の役割と青少年に対する「心の教育」に想う



会員の皆様にはお揃いで佳い年をお迎えのことと想います。

さて、過日「中教審答申の要約」に目を通す機会がありました。最近のマスメディアは青少年犯罪の低年齢化が際立って増加傾向にあることを伝えておりますが、誠に憂慮すべきことであります。その対策として「社会全体のモラルの低下の見直し」「家庭のあり方の問い直し」「地域社会の見直しと学校教育の役割の見直し」等々、あらゆる視点から提言がなされておりましたが、特に企業中心社会から「家族に優しい社会」への転換を図ろうという項目に注視させられました。具体的には働く親が家庭教育にもっと参加し夫婦ともに社会の中で自己実現を目指すことができるような男女共同参画社会、夫婦が「ゆとり」をもって子育てができるような社会、言い換えると「家族に優しい社会」を作っていこうということでもあります。このことは家庭と学校、そして地域社会が連携して始めて達せられることであります。また「心の教育」は対話、会話の機会をより多く持つことが今一番多く求められていることを実感させられたところでした。ご案内の通り私達女性会のモットーは「凜と信」ですが、社会に貢献するという意味ではこれらの本旨を踏まえて会員同士が積極的にこの種会合に参画し実を挙げることがその意に添うことができるのではないかと思います。

何れともあれ、全会員が知恵を出し合い明るい社会の構築に積極的に参画することこそ活動指針を充足させる最善、最良の使命であると思います。

最後になりましたが今年も皆さんと共に元気に頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

長野全国大会で感激！

9月

長野全国大会には私たち大館からは5名、3泊4日の日程で参加しました。

スーパーあずさで、松本入りをした私達は国宝・松本城などの見学をし、浅間温泉へ宿泊しました。翌日は川中島古戦場、白糸の滝、鬼押出し園などを見学したあと旧軽井沢銀座を散策しました。国際的な避暑地の軽井沢は多彩なギャラリーや素敵なカフェがあり、とても魅力的な町並みでした。

3日目は大会当日で、会場となったのはエムウェーブ（長野オリンピックのスケート会場）でした。例年より全国大会が早まったのは、翌月からは会場がスケートリンクになるからとの事でした。アルプスホールンとおみなえし、ききょうなどの花々と長野りんごジュースと女性会員皆様の素敵な笑顔で迎えてくださいました。記念講演は、医師で作家の鎌田實先生で、諏訪中央病院名誉院長など多くの方面で活躍されている方でした。お話を聞いて、素晴らしいお医者様、神の心を持つ方と感じ涙が出てしまいました。懇親会は広い会場を生かし着席型となっており、ご当地ならではのすばらしい余興と、信州の恵を楽しむ夕べというお題のディナーで、すばらしい方々との交流も図ることができ、パワーを感じてきました。後日長野会議所の役員の方や会員の方、他の全国大会で時々お目にかかる北海道の方などから手紙をいただき、明日への活力が益々わいてきました。この日の宿泊は善光寺を目の前にした宿坊・兄部坊（このころの宿に泊まり、仏面の面影が色濃く残る信州一の門前町を歩き、善光寺では翌日早朝に「お教珠ちょうだい」をし、その後のお戒壇めぐりでは、ご本尊と結ばれていてガチャガチャと音をさせると幸せになるとされる錠前を全員が鳴らすことができ、ありがたい気持ちで帰って来ました。

女性会の一員で本当にありがたいと心から感謝を申し上げます。美のある楽しい旅でした。（仲澤 和子）



▲国宝・松本城前で



▲大会会場
エムウェーブにて

日帰り旅行会に参加して

9月

青森県六ヶ所村の原燃PRセンターと航空自衛隊三沢基地への日帰り旅行会に参加させていただきました。

貸し切りバスで13名の参加だったので、道中ゆっくりと交流を深め合い、有意義な一日となりました。資源の無い日本では、原子力発電による供給が不可欠で、六ヶ所村のような核燃料サイクル施設の必要性は認識しましたが、同時に汚染物質処理の安全性については徹底してほしいと心からそう思いました。

また、三沢基地では管制室やレーダー室に案内していただき、日本の空の安全と平和が24時間体制でこうして守られているのだと実感しました。

最後は八戸の八食センターでの買い物を楽しんで、充実した一日を過ごしました。（三浦 恵）



▲F-2戦闘機の前で

乳児保育園にベンチ寄贈

10月

将来を担う子供たちのために、役立つものを贈りたいということで、大館樹海ドームで行われた産業祭の中で10月25日(日)にチャリティーバザーを開催しました。会員が自宅にある寝具や衣類、食器類、日用品などの不用品をそれぞれ持ち寄り寄って販売しました。収益金は45,080円になり、これを元に大館乳児保育園（園児75名）の希望を伺って、2台の図書ベンチを寄贈しました。中山園長さんは「絵本のコーナーに置いて、子供たちや親子で本を読む際などに使いたい」とのことで、活用してもらえれば私たちもうれしい限りです。このチャリティーバザーは今年で4回目、13施設となり、これまで絵本や紙芝居、遊具などを贈っています。（愛川 幾久子）



10月

今の政権に関心を持とう ～読売新聞 橋本五郎氏講演に108名～

県商工会議所女性会連合会と大館商工会議所の経営講習会が10月9日、大館市のプラザ杉の子で開催され、100名余りの参加がありました。講師も秋田県出身の読売新聞特別編集委員で、日本テレビ系「ズームイン!!SUPER」に出演しているということ、政権が変わって間もなくの時期ということもあり私も大きな関心を持ち受講しました。新政権が誕生して数ヶ月がたちましたが、私の感想としてはマニフェストでは良い事だけを言っているように思えます。農家への個別所得補償制度が実施されるとのことですが、もうすぐ農作業の計画を立てなければならないこの時期、未だ周知されることもなく、農家の人々は先が見えず不安を感じています。誤った理解を放置しておけば農家の所得の損失につながるのです。

橋本先生は「日本の政治に最も欠けている点は、地方をどうするかを何も考えていないことだ」と言われました。私もその通りだと共感しました。最後に、何が大切かを考え、思いやりのある心を持つ政策を望みます。（田山 雪江）



能代だより

会長あいさつ

能代商工会議所女性会 会長 池内 栄子



暖冬の予報がはずれ寒く雪の多い冬でしたが、春が一步・一步近づいて来た感があります。世界同時不況の影響による不安、政権交代による期待とが入り混じった中で、女性会が果たす役割として、元気で頑張る女性会を目指して、イベントや各種研修会の開催と関係団体の大会等へ積極的な参加を掲げ取り組んでまいりました。

各種行事ができたのも、商工会議所のご指導と女性会会員の一丸となったご協力のおかげと感謝しております。会長を引き受けて無我夢中の2年でしたが、その役割を無事に果たすことができて安堵している今日この頃です。私のモットーは、一つ一つ、誠心誠意、そして楽しく、センスをもって頑張ることです。

これからも、頑張る能代女性会に期待するとともに、関係機関のご指導と応援をお願いするところです。研修会に参加された会員より、感想を寄せられておりますので、その一部を下記に紹介いたします。

夏季研修会

6月

好天にめぐまれ少人数でしたが、碓ヶ関、立佞武多の館へ向かい、高さ22m巨大ねぶたを見て感動の一言。丹頂鶴見荘自然公園を散策、太宰治記念館を拝見し～笑われて 笑われて 憎まれて 憎まれて～一人前になるという確信が心に残っています。

(北林 京子)



9月

長野全国大会



能代から10名の参加で、会場は長野の「エムウェーブ」。ここは、オリンピックで清水選手が金メダルを勝ち取った場所です。記念講演は(医師で作家)鎌田先生のあきらめないという話を聞き、考えるところがありました。長野に来たからには善光寺！参拝をし、胎内めぐりも体験し、お守り買い、帰りは浅間の噴火後の溶岩の黒い塊の恐い光景を見てびっくりしながらも、みんな元気に帰って来ました。(加賀 鉦子)

みなと祭り 「バザーとしらかみ美人うどん販売」

7月
12日

毎年恒例事業で、今までは会員持ち寄りのバザーを開催していましたが、今年はそれに加えて、初めての飲食コーナーを設け、しらかみ美人うどん、(ネーミングがいいですね、会員もネーミング通りです???) チヂミを出し、また即売も致しました。



夏なので冷たいうどん(ツルツル感、シコシコ感、酵母がきいて実においしかった)、逆にチヂミはその場で焼いてアツアツを販売。どちらもアツという間に完売し、

気がついたら、アレ、自分達の食べるのがない……。毎年のことながらかなりの人出といろいろな出店が多いにもかかわらず、ほとんど見ることもなく真夏の海、岸壁、思ったよりも日差しがきつくなかったのは幸いでした。(工藤 玲子)

フラワーアレンジメント

12月

松・水仙・スイートピー・葉牡丹・シンビジウムなど豊富な花材に千両・雪柳(金粉)がお正月らしさを醸し出している。お手本のもとに皆真剣に取り組み、今回もまた我が家の玄関は華やいだ雰囲気につつまれ来訪者の心を和ませてくれています。(宮腰 章子)



新春講演会並びに新年祝賀会

1月

「風の王国」プロジェクト

NPO法人「環境あきた県民フォーラム」理事 山本久博氏をお招きしての講演会を開催しました。能代山本郡内の恵まれた自然(シベリアからの質の良い風)を大いに利用し、本県沿岸に1,000本の大型風車による発電で地域活性化に少しでも役立ち、又地域の可能性を求めて秋田県民＝能代市民がこの地で出来ることを探して市県民が一丸となり、風資源を利用して発電日本一の環境都市秋田を目指していきましょと久しぶりに明るく大きな夢に会場からは拍手が沸きあがりました。

続いての新年会は、能代市長、広幡会頭をはじめたくさんのご来賓の皆様方と共に楽しく交流を図りました。また、全国大会へ出席した会員



の皆さんで草津温泉で覚えてきた湯もみが披露され、平成22年度も地域貢献の「能代商工会議所女性会」は新しい年も女性の力で不況を跳ね飛ばして明るい年にしようと思ひあいました。(腰山 敬子)

納涼会

7月
29日

毎年恒例の「納涼会」が、20名の参加で盛大に開催されました。

不景気と言われる昨今ですが、能代女性会は若さ？とパワーは未だ増強しております。今年は、花柳登寿徳さんより祝いの舞をご披露頂き、その後、カラオケ大会と全員が輪になって「お杉音頭」を踊りました。日頃の労いと共に親睦を深め、今後の団結をさらに深めたひと時でした。(大高 富子)



横手 だより

会長あいさつ

横手商工会議所女性会 会長 高橋 正子



平成21年9月、横手市ではB級グルメの祭典「B-1グランプリ」が開催され、約26万7千人の来場者数を記録しました。同日私たち女性会員は、横手商工会議所主催の「C-1カーニバル」会場にて本部受付を担当するなど、微力ながらイベントに協力させていただきました。横手が誇る「横手やきそば」が見事グランプリを獲得し、横手市全体が興奮の渦に包まれました。これを契機に、街全体が元気になってくれれば、またそれに少しでも協力できればと日々願っております。さて、今年度も当女性会では様々なイベントや研修会に積極的に参加して参りました。また、独自に開催した「横手版女性起業家大賞」には5名の方に申しいただき、下記のとおり受賞者が決定しております。振り返ると長いようで短かったこの1年間、ご協力いただきました会員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

防犯講習会

4月
21日

平成21年度定時総会終了後、横手警察署生活安全係長 松塚輝之氏はじめ、4名の方々による「振り込めサギの発生状況」および「青少年の犯罪被害状況」についての講習会がありました。ニュースなどでよく報道されていますが、警察官・市の職員・銀行員などが口座番号を聞いたり、振込依頼の電話を掛けてくることは絶対ないし、不審に思ったら、『電話を切る』『誰かに相談する』これを徹底してほしい、とのお話でした。新聞、テレビなどで情報は毎日のように私達の日や耳に入っているのですが、いざ自分自身に被害が降りかかった時は、本当に冷静に対処できるのかとても不安に思います。今回の講習を手本にして、会社や家庭で互いに情報を交換しながら被害に会わないよう注意していきたいと、気持ちを新たにしたい講習会となりました。(鶴田 裕子)



全国線香花火大会

7月
25日



線香花火の長持ち競争の抽選を担当

9月
4日

全国大会 in 長野

第41回全商女連総会が長野市で開催され、当女性会から5名が参加しました。全国大会に参加するのは初めてだったので、出発前から楽しみにしていました。総会会場はものすごい人で、地元女性会員の歓迎ぶりにも驚かされました。吉川稲美全商女連会長の挨拶では、めまぐるしい現代においていつでもチャレンジ精神を忘れない姿勢が大事であると熱弁されました。懇親会では長野の物産展・地場産品の紹介など、学ぶところが大変多く、参考になりました。また、他県の女性会員との交流も深めることができ、大満足でした。翌日のエキスカンションでは上高地を観光し、まるで絵葉書のような美しさに只感動するばかりでした。このような機会を与えていただき感謝いたします。(七尾 喜美代)



平成21年度横手版女性起業家大賞受賞者決定！

●最優秀賞● 横手商工会議所女性会長賞

(株)ユニサービス 代表取締役 新田 祐子 氏

「ベレスタ」というロシアの伝統工芸品(雑貨)の輸入卸・ネットショップ販売業、ロシアに関する調査・翻訳・コンサルティング業。
シベリアのベレスタ(小物入れ)→



●優秀賞●

ほのぼのカフェ あ〜ぶる

代表 小野 多寿子 氏

ペットと一緒に来店できるカフェ。横手産の食材を多く使用したメニューを提供。その他手作り作家の小物類の販売や教室などを開催。定期ライブも開催。



●奨励賞● さらさら

代表 山田 あゆみ 氏

中国茶と紅茶を愉しむ会『さらさら』主宰。オーガニックや自然栽培、野生しているもの等を提供している。



●特別賞● うつわ 茜

代表 大橋 牧子 氏

作家物の陶磁器販売。個人作家の作品のみを取り扱い、大量生産にはない味わいのある器を販売している。



●特別賞● わん・にゃんの店留留

代表 高橋 廣子 氏

仔猫・仔犬の小売販売・卸売、ゲージ・フード等の販売。動物病院の勝手がわからないお客様に対し付き添いや代行アフターサービスを行っている。



大曲だより

会長あいさつ

大曲商工会議所女性会 会長 高柳 克子



経済不況の明るさも見えてこない今、ことさらに春の陽ざしが待たれるこの頃です。こんな時こそ女性会のメンバーが集い、語り合い、交流を深め、勇気を持って行動していかなければと2回の講演会を行いました。それぞれに力強いメッセージが伝えられ、感動と刺激をいただきました。又、長野で開催されました全国大会には研修旅行も兼ね、9名で参加いたしました。全国3,300名の参加でおもてなしの心と、他の女性会のパワーをいっぱい感じてまいりました。次年度も多くの会員の方々が集えるよう、皆様と共に努力してまいりたいと思います。今後ともよろしくご指導お願いいたします。

5月

通常総会

太田町 川口温泉 奥羽山荘にて開催。

総会終了後、懇親会が行われ、県商工会議所女性会連合会会長賞を受賞したブランカ三浦 尚子さんへお祝いが贈呈されました。



7月

移動役員会・講演会

小池一夫氏別邸「可(べく)」にて女性会役員会・講演会開催。

山王丸副市長を講師に迎え、「女言葉にないもの」をテーマにした講演をして頂きました。



10月

秋の稔りフェアに出店

秋の稔りフェアが10月24日(土)、25日(日)の2日間、大仙市立体育館周辺を会場に開催され、女性会では体育館にて恒例のうどん・そば・ラムネ・お茶の販売を行いました。今年は天気に恵まれ、体育館の外で行われた青年部主催の納豆まつりや、たくさんの物品販売に人が流れ、体育館内の人出は去年ほどではないように見受けられましたが、それでも一時は行列もでき、初日、二日目ともにお昼過ぎにはうどん・そばが完売になる盛況ぶりでした。



11月

女性会講習会開催

11月10日(火) グランドパレス川端にて開催。弾き語り講演活動を行っている元秋田県職員 佐藤貞勝氏



を講師に迎え、心の健康をテーマに講習会が開催されました。日々の生活の中、我々が忘れてしまっている感謝や慈悲、本当のやさしさなど、心についてたくさんのことを語られ、心の哲学ともいえるべきとてもシンプルに響く内容でした。

新年会

1月

1月12日(火) 大曲エンパイヤホテルにて、ご来賓、女性会会員21名の参加により女性会新年会が開催されました。

初めに高柳会長より「今年は花火100周年にあたり、大曲は元気になる。女性会も協力して実りある1年にしたい」と挨拶があり、来賓の山王丸副市長より「日本の行く末は見えないが、今年は皆が信頼し合って暮らせる環境づくりと、上を向いて歩くためのきっかけづくりをしていきたい」と抱負が述べられました。つづいて高橋会頭より協議所事業へのご協力に対して感謝の言葉が述べられ、「大曲に生まれてよかったと思える街になるよう、健康に気を付けながら頑張ろう」と挨拶がありました。

その後、伊藤副会長の乾杯で祝宴となり、講師の伊藤美果さんのトークとみんなでコーラス、高橋会頭のソロ、そして秋田県民歌の大合唱など大いに盛り上がりました。最後に池田副会長より、一層の活躍を誓い、一本締めでお開きとなりました。楽しい笑顔で始まる良い新年の幕開けとなりました。



秋田県民歌合唱



高橋会頭・美果先生の
スペシャルコラボライブ

湯 沢 だより

会長あいさつ

湯沢商工会議所女性会 会長 大 野 恵美子



“光陰矢のごとし” まったく同感であります。商工会から商工会議所に移行され、当女性会も県女連の仲間に入れてさせて頂いてから早20年が経ちました。歴史ある女性会の中は、これまでとは別世界のように感じ戸惑いましたが、皆様の温かいご支援で東北総会・全国総会と参加させていただき、女性が一堂に会しての素晴らしい力と会員相互の結束を再確認しとても感動いたしました。これからも商工会議所女性会会員であることに誇りを持って、ネットワークを大切に親睦を強化し、元気な地域・夢のある明るい町づくりのために心を一つにして事業展開してまいります。

平成21年度の主な事業

4月
5日

ブローチ作り講習会



新聞紙を材料にブローチを作成。環境問題に配慮した世界にひとつだけの作品が完成しました。

5月
15日

定時総会



全議案とも原案通り承認。終了後の懇親会には就任直後の齊藤新市長も飛び入り参加しました。

9月
2日

郡内女性部との交流会



川連町を会場に開催。漆器博物館などを見学した後、大懇親会が行われました。

9月
4日

全女連長野大会



当女性会からは3名が参加。善光寺でありがたいお数珠を頂戴してまいりました。

9月
16日

サングリーン慰問



老人福祉施設を慰問。フラダンスや西馬音内盆踊りを披露。みんなに喜んでもらいました。

10月
19日

いものこ会



あいにくの天候の中、秋ノ宮方面を散策。温泉に浸かってリフレッシュしてきました。

11月

パソコン講習会



超初心者向けの内容で開催。マウスの持ち方から始まり、インターネット閲覧まで習得しました。

1月
14日

新春講演会&新年会



「七人の侍」と題した講演会。終了後は講師を交えての新年会。大いに盛り上がりしました。

2月

13日
~
14日

犬っこまつり



晴天にも恵まれ、たくさんの観光客が来場。名物・犬っこそばを筆頭に約2千食の売上を記録しました。

コ

ラ

ム

6年ぶりに見事に咲いてくれました。右記の写真は、女性会の研修旅行で志津川のホテル観洋に行く途中の「花泉町」のペコニア館で買ったものです。

赤と黄色の二種類を買い、冬になってからは店の棚のガラス越しの日の当たる所に置いておきました。黄色は一年で枯れてしまいましたが、赤は冬になると枯れ、又春になると芽が出て葉は伸びるのですが5年間一度も花をつけた事はありませんでした。

もう駄目だと思い、外に出したままにしておきましたら芽が出て太陽の光に直に当たってつやのある元気な葉が出、赤い蕾をつけた時はヤッターという感じでした。同じ場所に置いてモシクラメンは毎年花をつけてくれます。

花もそれぞれの環境に合わないとう花が咲かない事を知りました。一本のペコニアから差芽をして三本が花を咲かせてくれました。今年も元気に芽を出したら差芽をして増やしたいと春の来るのを楽しみにしています。(蛭田 成子)

